

製品名: TF ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18809**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	33kDa

抗原情報

遺伝子名	F3
別名	F3; Tissue factor; TF; Coagulation factor III; Thromboplastin; CD142
遺伝子 ID	2152.0
SwissProt ID	P13726
免疫原	抗血清はヒト F3 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 131-180

背景

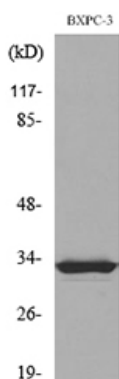
この遺伝子は、細胞表面糖タンパク質である凝固因子 III をコードしています。この因子は、細胞が血液凝固カスケードを開始できるようにし、凝固因子 VII の高親和性受容体として機能します。結果として生じる複合体は、特異的な限定的なタンパク質分解によって

凝固プロテアーゼカスケードを開始させる触媒反応を提供します。これらのプロテアーゼカスケードの他の補因子が機能しない前駆体として循環しているのとは異なり、この因子は強力な開始因子であり、細胞表面に発現すると完全に機能します。この因子には、細胞外、膜貫通、細胞質の3つの異なるドメインがあります。このタンパク質は、凝固経路において先天性欠損が報告されていない唯一のタンパク質です。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2010年5月],機能: 循環血液中の第VII因子または第VIIa因子と複合体を形成し、血液凝固を開始する。[TF:VIIa]複合体は、特異的な限定的タンパク質分解によって第IX因子または第X因子を活性化する。TFは、細胞表面への集合と凝固プロテアーゼカスケードの伝播を開始することで、正常な止血に関与する。誘導: TFの発現は細胞の種類に大きく依存する。TFは、炎症性メディエーターであるインターロイキン1およびTNF、ならびにエンドトキシンによって誘導され、細胞性免疫応答の構成要素として単球および血管内皮細胞上に発現する。オンライン情報: シンガポールヒト変異・多型データベース,オンライン情報: 組織因子エントリ,類似性: 組織因子ファミリーに属する。、

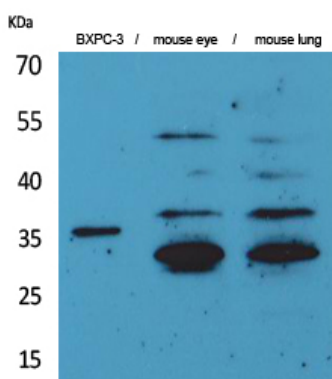
研究分野

補体と凝固カスケード;

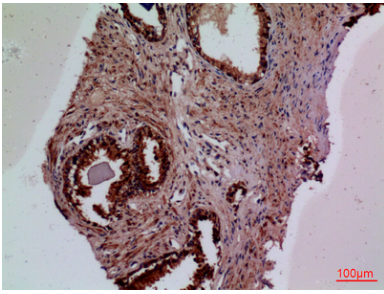
画像データ



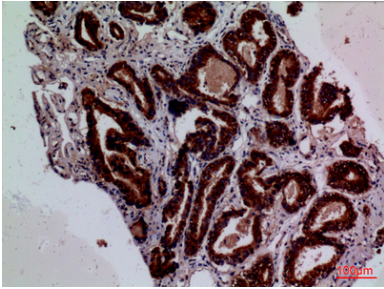
F3抗体を使用した BXPc-3 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。



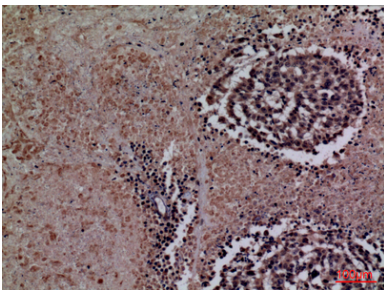
TFポリクローナル抗体を用いた BXPc-3、マウス眼、マウス肺細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は1:20000に希釈された。



パラフィン包埋ヒト前立腺癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト前立腺癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された